

# 天谷議員の一般質問 12月14日 PCR検査の抜本的拡大を！



天谷みえ子議員は12月14日、一般質問にたちました。今回取り上げたテーマは、市長の政治姿勢について、コロナウイルス感染症対策について、LRTのJR宇都宮駅西側延伸について、市営住宅の管理と宝木市営住宅団地再生基本計画の進捗状況についての5つでした。

## 天谷みえ子議員

栃木県内でも足利市や佐野市の高齢者介護施設においてクラスターが発生した。宇都宮市内の入居施設の施設長さんは「いつ施設で新型コロナウイルス感染症が発生するかと不安でいっぱいだ」「スタッフも自分が感染源にならないように休日もほとんど出歩かずに過ごしているようである。リストレスが溜まっている状況だ」と答えている。

こうした不安に添えていくためにも社会的検査が必要であると考える。

医療機関や介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、学童クラブなどクラスターが発生すれば多大な影響がでる施設等で、職員に対して症状がなくても、定期的なPCR検査を行う体制が必要だ。

## 社会的検査を急げ

特に、入院・入所する人の大半が高齢者である医療機関や介護・福祉施設での集団発生を防ぐことは重症・死亡事例の発生を抑えることにも直結する。新規の入院・入所者に対してはルーチンでPCR検査を行う体制が必要だ。

日本共産党はこうした検査が自治体任せではなく政府が自ら先頭に立って「社会的検査」を推進すること、検査の地方負担問題を解決するため全額国庫負担で行政検査の仕組みをつくることを求めている。

## 緒方秀徳保健福祉部長

高齢者や基礎疾患があり希望する方や他県と往来するビジネスマンへの検査への補助については、今回の議案に補正予算で計上してある。

# 生活困窮者への対応について 原議員の一般質問 12月15日



原ちづる議員は、12月議会での8つの項目について質問をしました。「もう一歩攻めきれなかった」という本人の感想はありますが、粘り強く質問をしました。

## 原ちづる議員

現在の新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、厚労省から「新型コロナウイルス感染症防止に関連した生活保護業務及び生活困窮者自立支援制度における留意点について」をはじめとし、事細かな通知がされてきた。

- 1、生活保護申請意思のある方に、速やかに申請書の交付は行われているか。
- 2、速やかな保護決定も徹底されているか。
- 3、住居を喪失した者への生活保護の適用について、本市の具体的な対応は。
- 4、一時的な居所の確保が必要な場合の支援について、通知にあるように、ビジネスホテルやカプセルホテル等の準備もできているのか。またこの間の事例はあるか。
- 5、年末年始の連休中の生活保護の相談体制及び、生活困窮者自立支援の相談体制の確保について、どのような計画になっているのか。

## 緒方秀徳保健福祉部長

1、国の「保護の実施要領」に基づき、生活状況の聞き取りや生活保護制度の説明のうえ、速やかに保護申請書を交付している。

2、コロナ感染の影響等で生活困窮に陥った方からの相談については、特例として速やかな決定をしている。

3、まずは無料低額宿泊所を案内。社会福祉協議会との連携や市営住宅等も活用している。その後生活保護などの必要がある場合は、手続きの案内をしている。

4、無料定額宿泊所の活用により、居所の確保等適切な支援が図られているので、民間ホテルなどでの対応事例はない。

5、生活保護受給者には、事前に病院への受診勧奨や服薬管理の注意喚起等とともに、連休中の不測の事態に備えた緊急連絡体制を整備中である。生活困窮者自立支援の相談体制については、コロナ禍で急増した相談への対応のため、職員を増員をした。早めに相談いただくよう、HP等で案内する。

## 原議員再質問

この間、仕事と住居を一度に失ってしまった方が、なかなか生活保護を申請できなかつた事例を聞いている。

フードバンクなどからは利用者の頻度が上がったたり、路上生活に陥ってしまった方の話も聞いている。

市は「困っている人がいる」という前提で体制をつくるべきだ。

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 2月13日(土) 午後2～4時

1月の相談会はお休みです。

◇会場 宇都宮市総合  
コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622  
(党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722  
(党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。

秘密厳守します。弁護士が協力します。